

〔赤嶺奈津江議員 登壇〕

○12番 赤嶺奈津江さん 皆さん、お疲れさまです。一般質問3日目最終日、ラストバッターとなっております。平成30年最後の質問になりますので、以前より質問している事項もありますので、前向きな答弁をいただきたいと思ひます。最初に一括で質問をして、再質問から一問一答で行いたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

それでは大きい問ひ1. 各種団体・各部・各課が行う行事の持ち方を問う。(1) 町内で開催される行事が同じ日に複数重なる事が多々ある。各種団体・各部・各課の事業を調整しているか。(2) 平成27年3月議会でも同様の質問をしたが、その後、変わった点はあるか。(3) 県教育委員会の方針で、3学期に学校行事が組まれていない。これまで、1・2学期に行っていた行事で、3学期に行うことも検討したか。

大きい問ひ2. コミュニティ・スクール制度(学校運営協議会制度)導入について。

(1) 11月末に山口県光市に、コミュニティ・スクールについて同僚議員12名と視察をしてまいりました。コミュニティ・スクール制度は、法律改正で平成29年4月に施行され、5年を目度として努力義務としています。本町の方針をお伺ひします。(2) 沖縄県内では、平成30年4月1日現在で、5市町(名護市・うるま市・沖縄市・西原町・糸満市)で取り組みがされています。是非、早期に取り組んでほしいがどうでしょうか。

大きい問ひ3. コミュニティバス等の導入について。これも先ほど言った山口県周南市に視察に行ったのですが、とてもいい施策だと思ひましたので、これまでも提案してきましたが、さらにお願ひしたいと思ひ質問しております。(1) これまで高齢者等の買物弱者支援のためにコミュニティバスの提案をしてきたが、本町の導入予定はあるか。(2) 各自治会での取り組みに、コミュニティバスに関する補助事業を入れることはできないか。以上、大きい問ひ3点、よろしくお願ひします。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 お答えいたします。まず質問項目の1点目です。(1)です。教育委員会におきましては、例年2月から3月にかけて、校長・教頭連絡会で学校行事を集約し、関係する機関に行事を調整し、重複のないようにしております。また、町の社会教育関係団体の年間行事予定表を作成して、各自治会、社会教育関係団体へ配布して、年間行事の周知は行っております。(2)でございます。行事の持ち方やその調整につきましては、南風原町社会教育関係団体年間行事予定表を6月末までに作成して、早目の行事の周知や趣旨説明を行っておりますが、各種団体の都合もあり、調整はなかなか難しいものが現実の状況となっております。続いて(3)でございます。各小中学校においては、毎年度12月から3月の間に行う学校経営計画策定作業において、次年度4月からの行事計画を策定する中で検討を行っております。学校によりましては、3学期に音楽発表会などを実施している学校もございます。

続きまして質問事項の2. コミュニティ・スクール制度の導入の(1)でございます。

それと(2)について、関連しますので一括で答弁いたします。現在、コミュニティ・スクール導入について、具体的な取り組みはまだ行っていません。同制度は学校が地域住民や保護者と教育目標を共有して、組織的・継続的な連携を可能とする制度とされております。本町は地域学校共同本部事業、これは通称学校応援隊はえばると呼んでおりますが、それに組み込んで、地域全体で学校を支援することで、学校教育の充実を図ることを実践して、相当の効果を上げていることから、今後また導入について検討してまいりたいと思ひます。以上です。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項3点目のコミュニティバス等の導入について。(1)についてお答えします。コミュニティバス事業導入については、現在の公共交通運行状況、主要施設の立地状況、地域の実情や需要及び財政負担等を踏まえ、検討を重ねていきます。なお、現在の財政状況を鑑み、早期の事業実施は厳しい面があり、事業実施の優先度を考慮する必要があると考えております。(2)についてお答えします。コミュニティバスに関する補助事業については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金があります。同補助金交付要綱に該当する事業であれば、補助事業の導入も可能であると認識しております。以上です。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。行事が重複しないように周知を行っているということでありましたけれども、(2)で答弁されている内容で、6月末までに作成して周知しているということでありましたけれども、通常、各自治会、行事の計画をす

12月18日（第4号）一般質問

る際には、総会にかけるとき、大体4月とか、前年度の12月に総会を持ったりという形で、次年度の作成は済んでいますよね、大体。6月に周知をしても遅いと考えますけれども、今回私がこの質問をした際に、教育委員会から答弁がありましたけれども、私からすれば総務でやるべき事業ですか、平和の日の記念事業とかも、何をするのかどのようにするのかわからないままに年度が始まるものですから、字としての取り組みの中で行事が重ならないようにというのがなかなか厳しいと思います。なので、ある程度、敬老会だったり、そういった事業は大きいものを確定できるはずなので、また運動会も大体同じ時期にされていますし、そういった確認をしてある程度の周知というのはできると思うのですが、この6月を待つというのは、なかなか厳しいと思うのですが、どう考えていますでしょうか。

○議長 知念富信君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 神里 智君 課としてもできるだけ早く作成したいのですが、青少年協いのろろな団体の、社会教育団体の総会が、5月が多いということと、4月から始まる自治会もありますので、4月から始まると3月か4月にしか総会が開かないということもありますので、現在のところ6月末ということになっております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん そういったことの調整会議で、ある程度この日程は予定しているという会議を本来やるべきではないかと思うのですが、それはできないのでしょうか。総会前に、予定を立てるということであれば、前年度を例に大体行事を入れてきたりすると思うのですが、それを見越しての調整ということが町としてできないのかどうか、お伺いしたいと思います。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 その辺につきましては、庁舎内の日程につきましては、いろいろな三役会議でありますとか、庁議、各部長会議等で調整は行えているところだと思います。しかしながら、先ほど言った社会教育団体等については、各団体の時期時期の決算、それから事業のタイミングをはかって計画しているところから、なかなかその辺を一堂に会して調整をするというのは今現在、非常に難しい形となっております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。今現在難しいということで、各種団体がふえていき、行事がふえていきという状態の中だと思うのですが、中にはスポーツ大会も含め、かなりふえてきて、町長杯という冠をもって、子供たちがミニバスケットだったりバドミントンという種目で大会を開催するというのも、数多くなってきましたけれども、そういったところで事業を調整することはできないにしても、日程の中でこのようにやっていこうという方針を周知徹底することはできると思うのですが、そういったことは可能でしょうか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 お答えします。前回の答弁の中にも、でき得るところでやっていきますという趣旨の答弁にはなっているのですが、一応各部、各団体の主管とする事業所については、できる限りそういうものが、重要なものが重ならないようにということで、再度その辺の趣旨の説明、それから調整をしていただくように、再度呼びかけていきたいと考えています。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際に私が思うのは、町の小・中陸上もありますけれども、ことしが17回目だったのですが、当初からの目的達成がされているのかどうかかわからないのですが、以前は、なかなか陸上競技大会に小学生が参加とか、中学生が参加して、地区陸上とか、知念地区陸上、島尻地区の陸上ということが、あと県の陸上ということがメインだったと思うのですが、今現在は通信陸上であったり、ジュニアオリンピックであったり、そういったことで大会自体もふえてきて、子供たち、このジュニアオリンピックとか小・中陸上とか、通信陸上は8月から10月の間に全部集中してきます。県大会も入ってくる、地区の駅伝も入ってくるとなると、ほぼ毎週のように競技が入ってきて、運動会の練習も入ってくる、中学生であれば3年に1回なのか、毎年なのかかわからないのですが、スポレクが入ってくるというようにずっと体を動かしてきて。体育会系の部活でない子であれば、そんなに体の負担はかからないのですが、体育会系の部活に入っている子は、夏季大会の前からずっと運動をし続けて、疲労骨折等もふえていて聞かれています。小学生から整体に通っているとか、そういう状態もあるものですから、行事のあり方として、小・中陸上を町の陸上、土曜日から長距離が始まりますので、それと合

12月18日（第4号）一般質問

体して、学校代表ではなくて地域代表とすることで、地域との交流も図れると私は思うのですが、そういったところからの見直しとかもできるのではないかと思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 上間 諭君 小学生陸上競技大会につきましては、町内の児童生徒の競技力向上及び体力増進、それと交流会、親睦の連携を図るなど、健全育成に努めるという大会になっております。ただ、町の陸上競技大会につきましては、やはり地域の振興も図りながら、競技力向上も入っておりますので、今後そういう組み入れがどうか、そこはいろいろと調査研究、ほかの市町村も確認しながら調査研究させていただきたいと思っております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん この中で提案したいのは、これまであったから、やってきたから当たり前でやるのではなくて、統合できるものは統合したりとか見直ししたりとか、種目のあり方を見直すとか、聞いてみますと、小・中陸上、中学生は大会が続くので、調整の中に入れるぐらいの大会でしかないということも聞くものですから、それであったら本来の意味がないのかなど。実際、参加しなくていいという流れになると困るので、そういったところからも見直しをしてほしいということでもあります。先ほど言ったように、平和の日の事業にしても、制定してこのように前後でやっていきたいということはあるけど何が入ってくるかわからないから日程が入れないとか。小・中陸上はこの日程があるけど、次の日程があるから調整でしか入れないとかという流れができてきているものですから、それであれば行事のあり方をしっかり見直すという前提を持たないと、ただ行事だけがふえてきて、多分役場職員の方々の負担は絶対ふえていると思います。その協議に入っていくわけですから。協議だったり事業に。そういったところからも見直しをしないと、ただの過重な思いだけしか残らないのであれば、何の意味もないということでの改善を提案しているわけです。多分、今やられている職員の方々はやるべきだということでは一生懸命されていると思うので、こちらから声を上げないと、見直そうということにもならないと思います。言われたからということだけでもいいので、今ある事業が本当に正しい方向を向いているのか。当初の目的は達成されていないか。というのは、なんぶトリムマラソンもスポーツ交流による南部の一体感づくりなど、当初の目的は達成されたということではなくなりました。そのように目的が達成されたのであればやらなくていいという事業のあり方もいいのかなと思いますので、そういったところで、再度チェックをお願いしたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 各種団体、さまざまな組織、スポーツも多いかと思っておりますけれども、我々、社会教育とかスポーツ振興をやっている部署でございますので、なかなか、あんなたちはやめて、あんなたちは頑張りなさいとは言えないです。今の質問者のご質問は、行政がやっているものを統合とか目的達成をきちんと確認しながら適切に、ふえてもいるので、ということでございますので、おっしゃるように誰かの担当のときにここでお前がやめたんだというのがなかなか辛くて、そういう前例踏襲でやっているという部分もあるのかないのかも含めて、一番町民の皆さんの声を、やはりどこかで率直なご意見を聞いて、段階的に判断していく必要には来ていると思っておりますので、今後検討させていただきます。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 各種団体ということで、教育委員会から答弁がありましたけれども、総務で管轄する部分も大きいと思っておりますので、総務からも答弁をお願いしたいと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 各事業の日程につきましては、先ほど教育部長からもあったように、部課長会議、庁議、三役会議等で、今月の日程、来月の日程ということで確認はしております。しかしながら、年間を通して年度が始まる前ということはまだやっておりませんが、やはり重複しない、また年間行事の早期確認のためという観点がありますので、きょうこの後、部課長会議を開く予定ですが、その中でも日程を早めに、各部日程調整を入れて、一年間の日程がすぐわかるような体制を構築していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

12月18日（第4号）一般質問

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、ホームページを開いても、次のこの事業がいつあるのかもわからないということで、発信がなかなか弱いところもあると思います。みんなわかっているだろうではなくて、常に発信をして、確認をしてということと事業をやっていたらだかなく、町民参加を求める事業は多いですから、また協力事業としてPTAだったり各種団体をお願いする部分もあると思いますので、行事の持ち方はしっかり考えて、また類似事業は統合するなり、そういうこともやっていただきたいと思

います。大きい1番の(3)ですけれども、3学期の学校行事をほぼなくてして、一、二学期に集中するよといううこととで以前県からの方針があつたということとで確認してあります。その中で、町の行事として、これは学校行事として一、二学期のものを3学期にやっているかということの確認だつたのですが、実際、一、二学期に集中して授業が入ってくるので、行事が入ってくるので、町がやる行事を今まで1学期、2学期に集中してあつた行事を、反対に町がやるものを3学期に持つてくるとか、そういう調整も必要だと思いうこととで、この質問をしてあります。学校側へはそういう対応をしてありますけれども、町側としてその配慮があつたかどうか、確認したいと思

います。

○議長 知念富信君 教育部長。  
○教育部長 金城郡浩君 今、我々が思いつく限りでは、特に時期をずらしたものはなかつたかと思

っています。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。  
○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、子供たちは参加してほしいと、か、保護者に負担をお願いする部分の協力依頼とかもあると思いうので、これまで一、二学期に集中してやっていた事業を、町側が主催するものを3学期にずらす等は、やはりやっていたらだかなくといけないことともあると思いうので、私も今すぐこれというのがすぐには出ないのですが、町民から言われたことを、私はずっと、1学期は行事が入つて3学期にばたつととまるという話があつたものから、それであれば町の行事をずらして3月にやるなどやってもいいのかなということとでの提案です、もし日にちが重ならないにしても、行事がずっと集中している。小・中学校においては、第3日曜日が家庭の日で行事は組まないよといううこととなのですが、実際、今年度も第3日曜日に行事が組まれていることがありましたので、是非そういった、何のためにこの日を制定したのかという趣旨も再度確認しながら行事は組んでいただきたいと思

います。次に質問2のコミュニティ・スクール制度ですけれども、まだ具体的な導入については、今後検討していくということとですけれども、実際お伺した光市の三井小学校というところで、コミュニティ・スクールを導入されたときの主事の方がいらつしゃって説明して、その後校長先生からの説明があつたのですが、その中で、行った視察のメンバーから、デメリットはありませんでしたかという質問の中で、ずっと黙つて、大きい発言があるのかと思つたら、デメリットは考えても出てきませんと発言されてあります。先生たちの負担軽減を、最初先生たちに伝えて、その中でいかに地域の人、保護者の方にかかわってもらえるかという前提から入つていったからこれができたのかもしれませんという話をされてありますけれども、やはりすばらしいなと思つたのが、学校の経営方針って、学校の先生、校長先生が方針を決められて、大体パンフレットにされて配布だけとか、このよいうにやりますという通知だと思いうのですが、目標の中にやさしい子とか頑張る子とか自立する子という大きい目標の中に、そういう子を育てるためにどういった授業を入れていけばいいのかということとを、学校運営協議会の中で話をして、それぞれのプロジェクトが動いていくと話をされてあります。このプロジェクトの中に自分が何にかかわれるかということとで、全然子供がいなくても畑のことだつたら教えられるとか、そういったこととで地域の方がかかわってくると。中には、自分でも子供たちに教えることができるんだということとで、地域の方の生きがいにもなっていると。子供たちからは、地域の方がこんなにかかわってくれるんだということとで、自己肯定感が出てきたり、有用感ですか、自分が地域のために、地域にかかわることとでありがとうと言われることとで、有用感を得られるということとで、荒れた時期に導入をしたら、かなり子供たちが落ち着いて、今は問題行動がないと言つてあります。目標が、学校が決めるのではなくて地域がかかわつてつくっていくこととで、勉強ができれば、今、学力向上ということとで頑張つてありますけれども、勉強ができればいいだけではなくて、いかに地域を愛する子を育てることができるかとか、地域貢献できる子に育てることができるかということとを、地域は求めているということとで、そ

12月18日（第4号）一般質問

いう事例があったので、是非、今、学校応援隊はえざるが頑張っていますけれども、それは学校の中で応援に入っていくということだけであって、地域におろして、どういう方針で学校がこの子たちを育てているかということは、地域の人にはわからないと思います。そういう中で、地域の人にも理解してもらって、学校にかかわってもらおう。PTAで言えば、PTAからも卒業した方、地域が入ってくるPTCAに、ペアレンツとティーチャーとコミュニティが入ってくるような形での運用かと思いましたが、まだ導入を検討している状態ということで聞いたものですから、以前、多分南風原町でも、山口県には現町長が教育長のときに、先進地視察で行かれたのではないかと思っていたのですが、山口県のほうでも、南風原町から来ていましたということで、先方から話がありました。光市だったかどうかはわからないのですが、そういったところからでも、先進地、秋田県から山口県に1回だけ変えて見に行ったことがあるということで、翔南小学校の前校長先生も来ていましたということで聞いたものですから、導入に前向きなのかなと考えていたのですが、まだ導入に向かっていない原因というのがありましたら、教えていただきたいと思

います。  
○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 導入に向かっているということよりも、今現在、議員からも説明がありました学校応援隊の部分が非常に突出して頑張っていると。南風原町でも、形としては学校の中の学習のところ少し特化した形で応援はしておりますが、実際、いろいろな部活動の支援であるとか、そういう体力づくりのほうにも、それから児童生徒が地域の行事に参加するということも既にやっております。我々としては、今現在持っている制度等を、持っているものをよく生かしながら、さらにコミュニティ・スクールに、どういう形でリレーしていくか、その辺を検討しながら、今回努力義務と制定されていますのも、急に導入という形ではなくて、それぞれの地域で特色をあらわしながら、そこにスムーズに移動するというのが前提だとこちらも認識していますので、その辺を、急に環境を変えらるということではなく、今持っているものを生かし切るような形で、その辺スムーズにいく形でやっていきたいということでございます。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 平成27年の中央教育審議会の答申が出ていたのですが、昨日、新垣善之議員からもあったのですが、その中で、後半のほうに、地域ボランティアの方々とのかかわり方ということで、学校応援隊はえざるのような形、共同ホームですね、そういった方たちとのかかわり方についても、前提としてうたわれていました。75ページということで、私はプリントアウトして全部チェックすることはできなかったのですが、そういったところでのかかわり方ということでも、国のほうでもこのようにしたほうがいいのではないかと、いろいろな案が出ているようですので、また事例の中で、これまで共同本部が頑張ってきたことに対して、こういうかかわり方もできますという事例が結構ありますので、そういったところも、やはり先進地視察とか、事例とか、結構上がっているのを見ていただいて、自分たちに合った形、コミュニティ・スクールの南風原版、いい形をつくっていったらと思いますので、焦ってつくれないということではないのですが、早期に導入するという気持ちでないと、ゆっくりでいいさーになると全然動かなくなったら困るので、できるだけ早目に動く努力はしていただきたい。情報収集もしていただきたいということであります。名護市、うるま市、沖縄市、西原町、糸満市、近隣に西原と糸満がありますので、どういう形でやっているかという話は聞かれているかもしれませんが、自分たちに合った形を模索しながら、今やっている方々と一緒に、地域と保護者と学校の先生方と、子供たち育むというところで、光市であったのですが、教育の「教」が「共に育む」でした。子供だけが育まれるのではなくて、大人も地域に対する愛情だったり、子供たちとのかかわり方、感情を育むという意味で「共育」ということがうたわれていたもので、子供たちのため、地域活性化のためにもつながるということですので、是非早目に取り組んでいただきたいとお願いして、2番は終わりたいと思います。

3番のコミュニティバスの導入についてでありますけれども、これまでも買い物弱者に対する支援ということで提案してきましたけれども、やはりなかなか導入が厳しいということで、予算的なものが一番だと思いますけれども、私たちが行った山口県周南市大道理地区というところだったので、こちらはコミュニティバスといいますか、タクシーとバスが合体したような、軽自動車での送迎、週3回、月、水、金の一日4便、午前2便、午後2便で運行して、予約制ではあったのですが、家の前まで送迎できるということから、お年寄りの方とか、体が不自由な方だったりも利用できると。ただ、介護事業ではないので、車椅子の移動の方は介護事業で入ってくると聞いています。そういった中で、私

12月18日（第4号）一般質問

たちは新川ですけれども、新川のほうで東陽バスが12月から廃線になりまして、お年寄りの方が、買い物に行きたくてもなかなか行けなくて、タクシーを呼んでの買い物しかできないと。年金生活ではかなり厳しいという話があって、そういった中でお互いに助け合いながら言っているのですが、車の運転をされる方も高齢者だと。なかなか若い人がいない時間帯での買い物になると、お手伝いもなかなかできない。新川ではチュイタシキタシキ事業ということで、字が予算を確保して、お願いする方から幾ら、字からの補助幾らで、お願いする、受ける方がお金をいただいて、ボランティアに行くという、有償ボランティアになるのですが、そういったことをやっています。その中で、周南市大道理地区でやっていたのも、有償ボランティアでした。運転手の方も地域の方で、二種免許も、限定型の二種免許のような形で話をされていましたが、そういったことで、地域の方が確実に午前2便、午後2便出るのであれば、計画的に買い物も行けるのです。もし今うちがやっているような事業だと、受けてくれる方がいないと買い物にも行けないわけです。なので、そういったところから行けば、確実に運行するようなコミュニティタクシー、バスのような形で運行できたら、確実に、新川だけでなく、宮城、大名もバスが通ってしまえんし、そういったところからも買い物だったりという、弱者の方、買い物だけではなくて病院も、朝行って夕方予約をタクシーのほうでやれば、行き帰り確保できるという形もできますので、そういったことができたらいいなということでの提案です。実際、私もまだ不勉強で、どういった事業がこの中に入れられるのか。また周南市で入れた事業が、南風原町に該当するののかということでも、まだわからないのですが、やはり高齢化する中で一番問題になっている免許返納です。地域の方でも、返納はしたいけど買い物に行くのが心配、病院に行くのが心配ということで返納できないと。地域に子供が多いものですか、お年寄りの方が運転する中で、ブレーキがおそいとか、反応が自分でも不安だとおっしゃる方もいるものですから、そういった事業は予算の確保を急いでやってもやるべき事業だと私は思います。これは、地域に住んでいる方の安心安全のため、また高齢者の足の確保といいますか、移動手段確保のためにも大事だと思うのですが、再度そのことについて検討できないかどうか、早目の対応ができないかどうか、確認したいと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 それではお答えいたします。まずコミュニティバスにつきましては、各市町村さまざまな形態があります。さまざまな車両を活用して運行しております。南風原町にはどれがいいのか、いろいろありますが、より身近な存在として、あれば非常にいい事業だとは認識しております。しかしながら、他の事業の優先順位もあることから、総合的に審議してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。私からすれば、かなり優先順位の高い事業だと思っています。お年寄りが移動できない、じゃあどうしようというときに、お金の問題がありますよね。生活できなくなったら生活保護だとか違うところでまた予算の問題も出てきますし、そういったところで確保する、自分で自活して生きていかれるという、一生懸命頑張っている高齢者を応援するのも町の仕事だと思いますので、是非早期にやるべきだと思いますけれども、町長、いかがお考えでしょうか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。議員ご指摘のとおり、やはり弱い立場の方々を支援するということは、行政の立場としては、優先順位は高いほうだという認識としておりますけれども、先ほど来、いろいろとご要望があるように、重度心身障がい者の子供たちの医療支援とか、ひとり親世帯とか、いろいろとやりたい事業がたくさんあるわけですので、その中で優先順位をとるという部長の答弁でしたけれども、そのあたりは是非ご理解いただいて、でも基本的には議員ご指摘のとおり、やはり弱い立場の方々を支援するのが行政の役割だということ、基本として持っておりますので、そのようにご理解をお願いしたいと思います。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。事業の優先順位ということで、厳しい部分もあるということではありますが、町長もおっしゃっていたように、優先順位は高いほうだと認識されていると聞きましたので、地域の方々にも町長としてもそのように考えていると説明ができます。これが優先順位だけの話をされると、自分たちは優先順位が下なのかと捉えかねませんので、優先順位は上ですけれども、その中でどのようにやっていくかが問題だと私は思いますので、是非、以前民生部でもお答えいただきましたけれども、福祉の計画の中でそういったことも検討していかないといけないと言われていたの

12月18日（第4号）一般質問

で、早期の実現をお願いして、以上で質問を終わりたいと思います。ありがとうございました。